

# 頭頸部がん診療連携プログラム

日本臨床腫瘍学会

## Ⅰ 連携プログラム開始の背景

日本における頭頸部がんの年間罹患数は約 2 万人、死亡数は約 8000 人であり男性に多いことが知られています。頭頸部がんに対する治療は、外科治療、放射線治療、がん薬物療法などを病態に応じて組み合わせて行います。転移・再発頭頸部がんは一般に予後不良で、特にプラチナ系抗がん薬に抵抗性となった場合の予後は非常に悪く、新たな有効な治療法が望まれてきました。国際共同第 III 相試験の結果を基に、免疫チェックポイント分子である PD-1 受容体に対する抗体薬であるニボルマブの頭頸部がんに対する適応追加が承認されました。2017 年 3 月現在、ニボルマブは「再発又は転移を有する頭頸部癌」、に対する適応にて承認されています。

日本における頭頸部がん診療は耳鼻咽喉・頭頸部外科医、歯科・口腔外科医を中心に担われてきました。しかし、このような有効性も期待できる一方で特徴的な毒性を有する抗悪性腫瘍薬の適正使用と有害事象のマネージメントのためには、がん薬物療法専門医との連携が必要と考えられます。そこで、頭頸部がんにおける薬物療法の適正使用と治療成績の向上を目指して、日本頭頸部外科学会及び日本口腔外科学会と日本臨床腫瘍学会では学会間の診療連携協力を推進することといたしました。

### ■ 各学会間 診療連携の構図



## Ⅰ 連携プログラムの概要

### ■ 目的

本診療連携プログラムは、頭頸部がん患者に対する免疫チェックポイント阻害薬を始めとするがん薬物療法の適正使用のサポートとその結果として頭頸部がんの治療成績の向上を目的とするものです。特定の製薬企業や団体などの営利目的をサポートするものではありません。この目的を実行するため、日本頭頸部外科学会(JSHNS)および日本口腔外科学会(JSOMS)と日本臨床腫瘍学会(JSMO)では診療連携に係る協定を締結し、全国 9 地区（下図）に各学会のエリアリーダーを制定しました。

本診療連携プログラムに賛同・協力する全ての医師は、このエリアリーダーのもと、以下 2 つの内容に取り組みます。

**【1】免疫チェックポイント阻害薬を始めとするがん薬物療法に係るチーム医療体制の構築と適正使用の推進**

**【2】地域における頭頸部がん治療に関する教育事業の推進**



# 頭頸部がん診療連携プログラム

日本臨床腫瘍学会

## Ⅰ エリアリーダー

- ・全国を 9 つのエリアに分け、エリアごとに各学会の [エリアリーダー](#)をおきます。エリアリーダーは診療連携に関する情報を提供・共有し、各学会間およびエリア内での連携の調整役を担います。
- ・JSMO 側（がん薬物療法専門医）のエリアリーダーは、連携に賛同するがん薬物療法専門医を取り纏めます。
- ・本プログラムに賛同するがん薬物療法専門医は氏名と所属医療機関名・連絡先をウェブサイト上で公表します。
- ・診療連携を通じた診療は、各医療機関に記録の残る形で行われます。

### 頭頸部癌診療連携プログラム エリアリーダー（頭頸部外科学会（JSHNS）／口腔外科学会（JSOMS））

	地区名	所属先名	氏名	役割	所属部署
JSHNS	-	東京医科歯科大学医歯学総合研究科	朝蔭 孝宏	リーダー	頭頸部外科学
	北海道	北海道大学病院	本間 明宏	リーダー	耳鼻咽喉科
	東北	宮城県立がんセンター	松浦 一登	リーダー	頭頸部腫瘍学
	関東	自治医科大学	西野 宏	リーダー	耳鼻咽喉科学講座教授
	東京	国立がん研究センター東病院	林 隆一	リーダー	頭頸部外科
	北信越	金沢大学附属病院	吉崎 智一	リーダー	耳鼻咽喉科
	東海	静岡県立静岡がんセンター	鬼塚 哲郎	リーダー	頭頸科部長
	関西	神戸大学医学系研究科	丹生 健一	リーダー	耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野
	中四国	四国がんセンター	門田 伸也	リーダー	頭頸科・甲状腺腫瘍科
	九州	九州医療センター	中島 寅彦	リーダー	耳鼻咽喉科
JSOMS	北海道	北海道がんセンター	上田 倫弘	リーダー	口腔腫瘍外科医長
	東北	山形大学	飯野 光喜	リーダー	歯科口腔・形成外科学 教授
	関東	自治医科大学	森 良之	リーダー	歯科口腔外科学講座
	東京	横浜国立大学大学院	藤内 祝	リーダー	顎顔面口腔機能制御学 教授
	東京	東京医科歯科大学大学院	原田 浩之	リーダー	医歯学総合研究科顎口腔外科学分野 教授
	北信越	信州大学	栗田 浩	リーダー	歯科口腔外科学 教授
	東海	名古屋国立大学	渋谷 恭之	リーダー	口腔外科学 教授
	関西	奈良県立医科大学	桐田 忠昭	リーダー	口腔外科学 教授
	中四国	高知大学	山本 哲也	リーダー	歯科口腔外科学 教授
	九州	長崎大学	梅田 正博	リーダー	歯学部 口腔顎顔面外科学分野 教授

### 頭頸部癌診療連携プログラム エリアリーダー（日本臨床腫瘍学会）

	地区名	所属先名	氏名	役割	所属部署
JSMO	北海道	北海道大学病院	清水 康	リーダー	腫瘍内科
	東北	宮城県立がんセンター	山崎 知子	リーダー	頭頸部内科
	関東	自治医科大学	藤井 博文	リーダー	臨床腫瘍部
	東京	国立がん研究センター東病院	岡野 晋	リーダー	頭頸部内科
	北信越	厚生連高岡病院	柴田 和彦	リーダー	総合的がん診療センター・腫瘍内科
	東海	静岡県立静岡がんセンター	横田 知哉	リーダー	消化器内科
	関西	神戸大学医学部附属病院	清田 尚臣	リーダー	腫瘍・血液内科
	中四国	香川大学医学部附属病院	大北 仁裕	リーダー	腫瘍内科
	九州	九州医療センター	内野 慶太	リーダー	腫瘍内科

## ■ 内容

### 【1】免疫チェックポイント阻害薬に係るチーム医療体制の構築と適正使用の推進

頭頸部がん患者の紹介元医師・歯科医師（耳鼻咽喉・頭頸部外科医、歯科・口腔外科医など）と連携協力医師（全国の連携基幹病院（後述）に所属するがん薬物療法専門医※）との診療連携を通じて、免疫チェックポイント阻害薬を始めとするがん薬物療法の適正使用とチーム医療体制の構築を推進し、頭頸部がん患者の治療成績向上を図ります。

※がん薬物療法専門医とは？…日本臨床腫瘍学会（JSMO）が認定する、質の高いがん薬物療法を実現するための幅広い臓器のがん薬物療法の知識と技術を持った専門医です。

# 頭頸部がん診療連携プログラム

日本臨床腫瘍学会

## Ⅰ 診療連携の方法

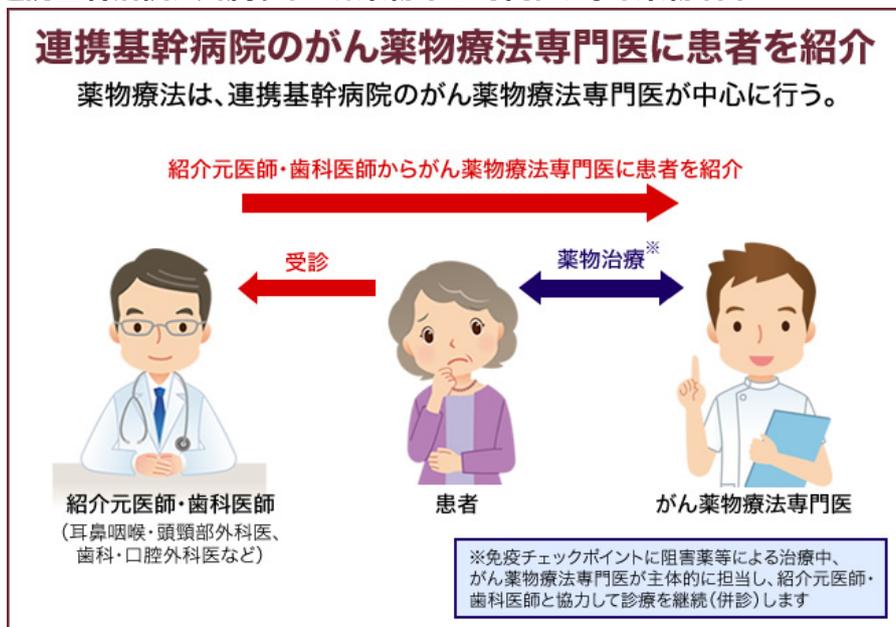
想定される診療連携の方法は大きく2つに分類されます。

- 1)患者紹介：連携基幹病院に所属するがん薬物療法専門医による薬物治療
- 2)コンサルテーション：紹介元医師・歯科医師（耳鼻咽喉・頭頸部外科医、歯科・口腔外科医など）からの相談に応じて薬物治療をサポートする

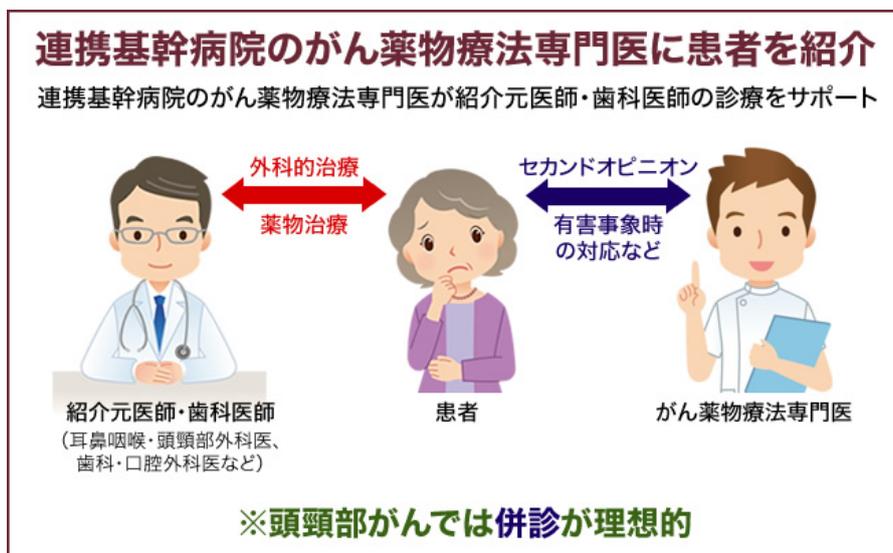
いずれの場合でも、必要に応じて「紹介元医師・歯科医師（耳鼻咽喉・頭頸部外科医、歯科・口腔外科医など）」と「連携基幹病院に所属するがん薬物療法専門医」の双方が併診して治療にあたり※、各医療機関の方法を用いて記録の残る形で診療します。また、本診療連携プログラムの枠組みで行われた診療は、オンラインによる患者登録によって記録され、各協力学会のエリアリーダーへの定期的なフィードバックを行うことで、改善を試みます。

※実際の診療は、各医師の裁量と責任のもとで行われます。本プログラムは、診療内容について関連学会が具体的な診療内容に介入するものではなく、またその責任を負うものでもありません。

### 1)患者紹介：連携基幹病院に所属するがん薬物療法専門医による薬物治療



### 2)コンサルテーション：紹介元医師・歯科医師（耳鼻咽喉・頭頸部外科医、歯科・口腔外科医など）からの相談に応じて薬物治療をサポートする



# 頭頸部がん診療連携プログラム

日本臨床腫瘍学会

## Ⅰ 症例の登録

実際の診療は、各医師の裁量と責任のもとで行われますが、本プログラムの枠組みで紹介があった場合は、相談・紹介の内容を患者登録専用サイトからオンライン登録いただきます。

◇ 患者登録専用サイト <https://jp.surveymonkey.com/r/FWZF27L>

◇ 登録内容

- 1) 連携協力医師（がん薬物療法専門医）情報
- 2) 紹介元医師（耳鼻咽喉・頭頸部外科医、歯科・口腔外科医など）情報
- 3) 診療連携のパターン、方法
- 4) 患者情報

## 【2】地域における頭頸部がん治療に関する教育事業の推進

全国9地区の各学会エリアリーダーの指導のもと、紹介元医師・歯科医師（耳鼻科・頭頸部外科医、歯科口腔外科医など）とがん薬物療法専門医を対象とした教育事業（地区セミナー、勉強会など）を計画し、実行します。教育事業は、がん薬物療法に関するだけでなく外科的治療や口腔ケアをはじめとする支持療法などに関する情報交換を行うことを予定しています。これを行うことで専門職種間の相互理解を深め、頭頸部がん診療の質を向上させることで、より良いがん治療を患者に届けられることを目的としています。

## Ⅰ 本診療連携プログラムにおける連携基幹病院とは？

免疫チェックポイント阻害薬を使用して患者の診療にあたる医師および施設は、時に生じる免疫関連有害事象などが発現した場合に適切な対応が求められます。このため、厚生労働省は2017年3月に“[最適使用推進ガイドライン ニボルマブ（遺伝子組換え）～頭頸部癌～](#)”を発出し、免疫チェックポイント阻害薬を使用して診療にあたる医師・歯科医師および施設に対する留意事項を取りまとめました。本診療連携プログラムでは、このガイドラインをもとに、免疫チェックポイント阻害薬を始めとする頭頸部がんに対する薬物療法を適正に使用することを促進するために中心的な役割を果たす施設を「連携基幹病院」※とし、以下のように定義いたしました。

※「連携基幹病院」に所属する本診療連携プログラムに協力するがん薬物療法専門医を「連携協力医師」と呼称させていただきます。

※「連携基幹病院」にご紹介・コンサルテーションして下さる施設は全て「連携病院」と呼称させていただきます。

**連携基幹病院の定義：①と②の施設要件に該当し、3つの診療要件すべてを満たす施設**

### <施設要件>

- ① 以下のいずれかであること
  - ・ [日本頭頸部外科学会認定施設](#)
  - ・ [日本口腔外科学会研修施設もしくは准研修施設](#)
- ② [日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医が在籍する施設](#)

### <診療要件>

1. 緊急時の対応や有害事象に対する速やかな処置が可能
2. 連携病院からの患者紹介や相談に対応可能
3. 連携病院からの紹介患者のがん薬物療法を行う

※上記の定義を満たさないが連携基幹病院としての診療体制が整っている場合には、エリアリーダーの推薦を基に「連携基幹病院」とすることを考慮します。

# 頭頸部がん診療連携プログラム

日本臨床腫瘍学会

## ■ お問い合わせ

頭頸部がん診療連携プログラム担当事務局 公益社団法人日本臨床腫瘍学会

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-15 芝パークビル 6 階

TEL : 03-6809-1250 FAX : 03-6809-1138 E-mail : [info@jsmo.or.jp](mailto:info@jsmo.or.jp)

頭頸部がん診療連携 WEB サイト: <http://www.jsmo.or.jp/headandneck-chemo/>